

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

埼玉県春日部市 春日部市立医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	未訓ガ	救臨が感輸
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
232,864	33,600	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

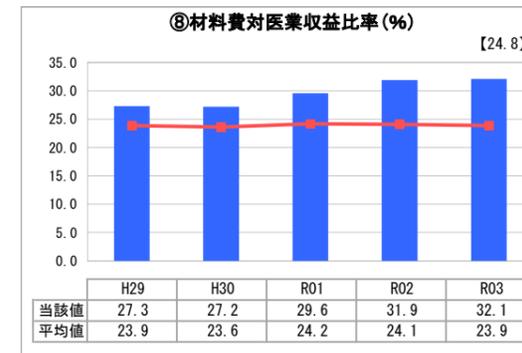
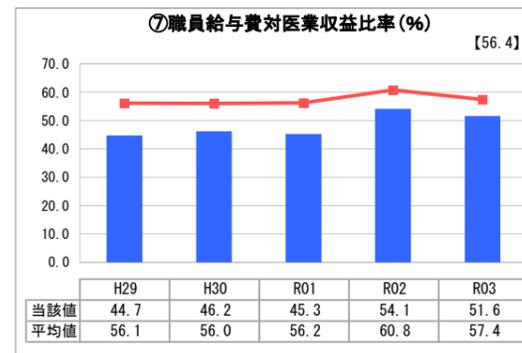
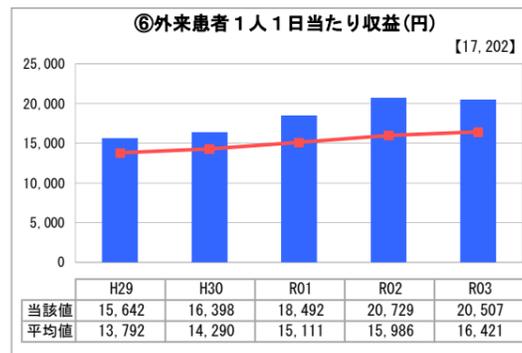
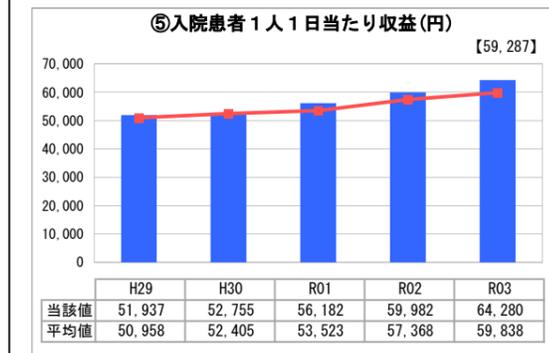
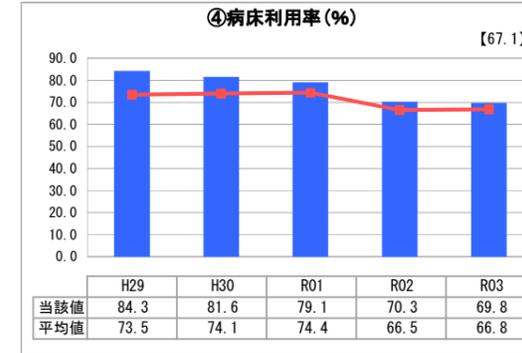
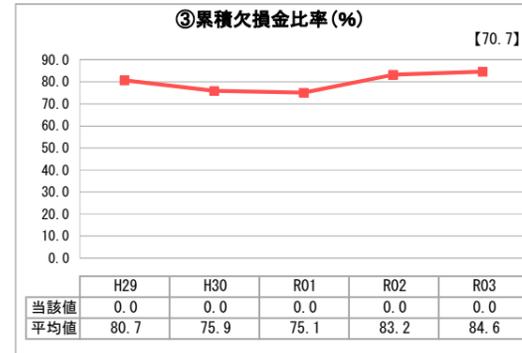
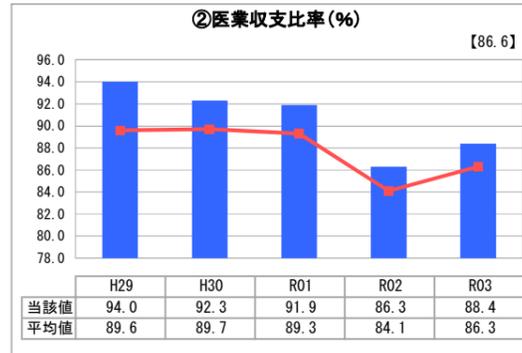
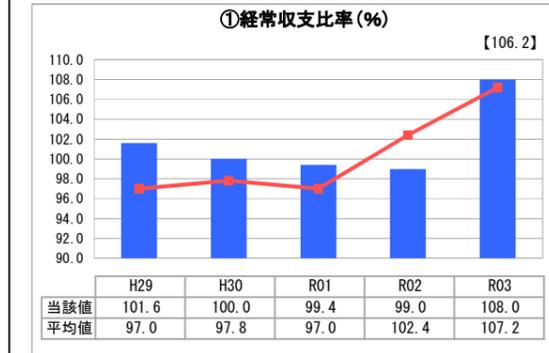
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
361	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	2	363
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
349	-	349

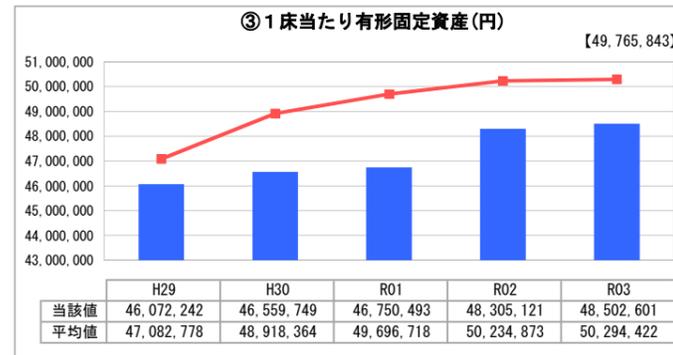
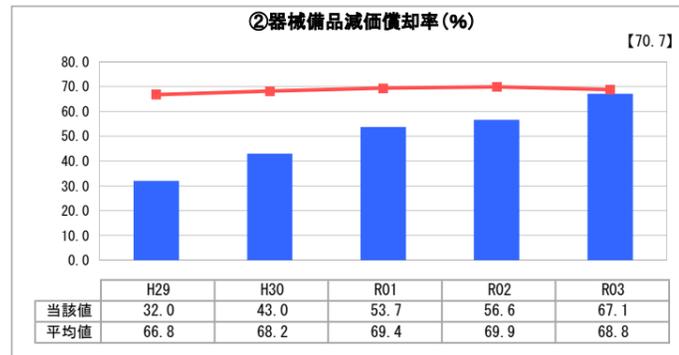
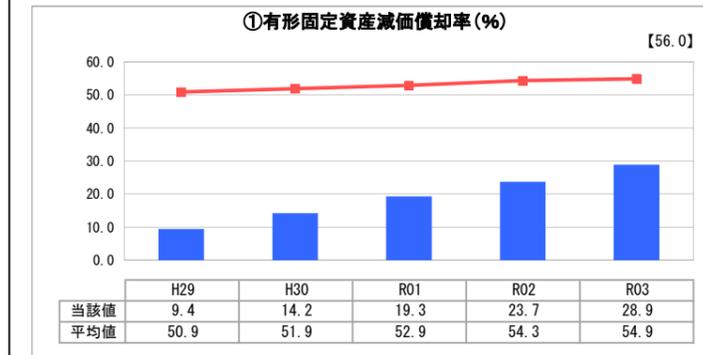
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

地域医療連携体制を支える基幹病院として、地域で不足する専門的な医療を提供している。また、地域がん診療連携拠点病院として、先進的な設備や医療機器を導入し、患者受け入れ態勢の強化を図るとともに、小児、周産期、救急、災害時医療などにおける地域拠点病院としての役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、入院・外来収益及び新型コロナウイルスに係る県費補助金の増により上昇した。② 医業収支比率は、入院・外来収益の増により改善した。④ 病床利用率は、新型コロナウイルス病床の確保に伴う休床の影響により減少した2年度と同程度となった。⑤ 入院患者1人1日当たり収益及び⑥ 外来患者1人1日当たり収益は、高額な抗がん剤治療件数の増により増加した。⑦ 職員給与対医業収益比率は、入院・外来収益の増加率が職員給与費の増加率を上回ったことにより下降した。⑧ 材料費対医業収益比率は、高額な抗がん剤治療件数の増により高い率で推移している。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、病院建物等の減価償却の進捗により上昇した。新病院建設から6年が経過していることから、今後の大規模修繕に備えていく必要がある。② 器械備品減価償却率は、令和2年度に購入した高額医療器械の減価償却開始により大幅に上昇した。今後も医療器械の計画的な更新を進めていく。③ 1床当たり有形固定資産は、新規購入した医療器械の計上に伴い増加した。

### 全体総括

3年度の経営状況は、入院・外来収益の増や新型コロナウイルスに係る県補助金の増などにより、2年度と比較して収支は改善した。今後も材料費や経費の削減を図りながら、病診連携・病病連携を進め、手術件数、紹介率および逆紹介率の向上を図るとともに、救急医療体制の強化や新規入院患者を増やす取り組みを実施し、入院・外来収益を確保することにより安定した持続可能な経営基盤を確立していく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。